

17日以来。

意欲を示した。イス氏は3日午後、移動して安倍晋三首脳と談する。4日には稲防衛相との会談に臨み、初め、厳しさを増した。アジアの安全保障環境を共有し、強米同盟の重要性を確方針だ。

イス氏は韓氏との会話で春を待つ豆地であった。冬型の影響で雪が降り込んだ朝を迎えた。幼稚園（園児27が「鬼は外、福は内」年長の杉崎は全然怖くなく

「豆まき」

ると、午前10時過ぎは仙台6時、仙駒ノ湯34時、大崎など。22カ所の観測地点、仙台で氷点下2.6度、7度、登6度だった。に覆われ、晴れや

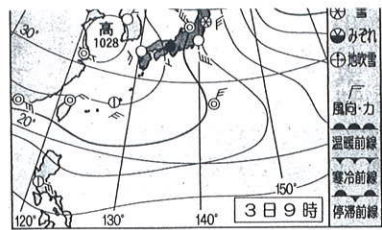
から増額した。

談で「米韓同盟はアジア太平洋地域の平和と安定の要」と強調。「米国や同盟国への攻撃は撃退する」と述べた。両者は米軍の最新鋭迎撃システム「高高度防衛ミサイル(THAAD)」の韓国配備計画の着実な推進など、対処能力の向上策を協議した。

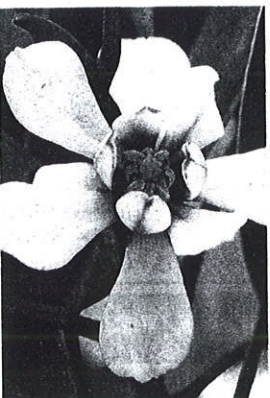
韓氏は北朝鮮が大陸間弾道ミサイル(ICBM)の発射実験をちらつかせて「国際社会を露骨に威嚇している」とし、マティス氏との会談は「北朝鮮に対する最も強力な警告となる」と述べた。

マティス氏は就任後初の外国訪問として2日に韓国入りし、朴槿恵大統領の権限を代行する黄教安首相や韓国大統領府の金寛鎮(キム・ガンジン)国家安全室長と個別に会談した。大統領府によると、マティス氏は北朝鮮の脅威への対応がトランプ政権の「最優先課題」と表明した。マティス氏は3日、尹炳世(ユン・ビョンセ)外相とも個別に会談した。

おことわり 連載「仙台西つてる」は休みました。



日曜日は低気圧や前線の影響で天気が崩れますが、気温は引き続き高いため、雪ではなく雨が主体で、降る時間は短い見込みです。



野の花ごまき

オガタマノキ (招霊の木)

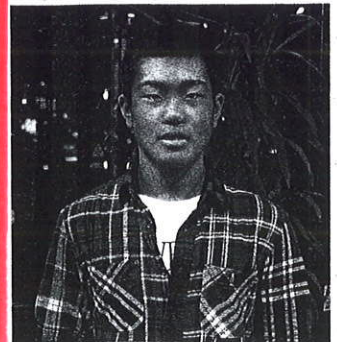
モクレン科
花期 2~4月
花 3色 樹高 15cm
分布: 関東以西

紅紫色を帯びた白色の花びらに包まれるように、黄金色の多数の雌しべと雄しべがある。目を凝らすと雌しべも雄しべもらせん状に並び、細工の細かさに感心させられる。形も色もそっくりの花弁とがく片が6枚ずつあり、よく見ると区別ができる。芳香がある。名前は招霊(おきたま)の転訛(てんか)。(文と写真 ナチュラリスト・矢加部和幸)

河北新報オンライン <http://www.kahoku.co.jp/>
ご講読申し込みは ☎ 0120-09-3746
オク ミナヨム

2017・2・3

東日本大震災の被災地、気仙沼市鹿折を先日訪ねた折、マンション型の災害公営住宅8棟が完成し、仮設住宅など避難先から移ってきた人々の暮らしが始まっていた。規模の大きな被災地だと、入居は抽選になり、震災前の古里や仮設住宅の仲間の絆はぷつぷつ切れてしまっている。震災から間もなく丸6年。災害公営住宅や高台の移転地の整備が進み、「復興は進んだ」と見られがちだが、その当事者である被災者は大切なものを喪失したままの心で離れ離れになり、それぞれに抱える問題は外から見えなくなる。延べ7680件。宮城県内の被災地で活動する「みやぎ心のケアセンター」(同県精神保健福祉協会が運営)が、昨年度に行った地域の住民支援の件数だ。生活や健康、家族関係などの問題、将来の不安は尽きず、件数は前年より増えた。「公営住宅の入居や交流の機会に新しいコミュニケーションづくりに関わっているが、仮設に残る人の孤立も心配だ」と企画部長の渡部裕一さん(46)。自宅で悩む人を訪ねてつながり、地元の特産品に関してもつなぐ。その活動は続いている。



河北抄
古川工高2年
みうら たかゆき
三浦 孝行さん(17)
仙台市太白区

スマートライフ コンシェルジュ
暮らしの工夫と住まいのあり方の関係がわかる
「住まい・暮らしのコンシェルジュ」。
これからの時代に求められる理想の住宅メーカー、理想の「スマートライフをかなえるコンシェルジュ」など、りんくうタウン総合住宅展
東北最大 全24棟 最新のモデルハウスが勢揃い!
名取市文化会館